

# 乳幼児医療費 助成の充実は

富安 伸志 議員



健やかな成長のため早急な助成は必要  
(イメージ)

**答** 今はほかの子育て支援に  
力を入れている

**問** 乳幼児医療費助成制度の対象年齢を小学生や中学生まで拡大している市町村が全国で8割に達している。本市では小学校就学前までに据え置かれており、拡充すべきではないか。

**市長** 乳幼児医療費助成は遅れているが、全体的な子育て支援は遅れているとは認識していない。

**市民課長** 近隣の状況、財政状況を踏まえ検討していきたい。

**問** 近隣の自治体の状況

はどうか。

**市民課長** 久留米市、大牟田市、柳川市、みやま市、八女市、広川町で小学生以上まで医療費の助成を引き上げている。

**問** 仮に八女市が行う中学生までの入院費用を助成するとした場合どれ位の費用がかかるのか。

**市民課長** 筑後市では約580万円程度必要だと試算している。

**問** 今後、本市は定住促進を進めていくこととしているが、住民を受入れる側の自治体として近隣市並みに拡充すべきでは。

**定住促進の視点でも必要では**

**市長** 現在、学童保育などに力を入れており、医療費の助成は当分の間、拡充できないが、それらの整備が一段落つけば検討に入る。

**当分の間は実施しない**

**市長** 現在、学童保育などに力を入れており、医療費の助成は当分の間、拡充できないが、それらの整備が一段落つけば検討に入る。

## 多くの地元食材を

### 学校給食へ

松竹 秀樹 議員

**答** 関係機関へ増やす  
努力をお願いする

**問** 学校給食へ地元農産物（米を除く）で、その物が全体の何%ぐらい使われているのか、またその種類は主にどのようなものか。

**市長** 地元食材を食する「ちつこの日」を毎月設定している。平成22年度の総購入量は145トン

**問** J A直売所には、量的な部分は十分あるので学校給食への食材提供をもう少し増やせないか。

**学校教育課長** J A直売

所と契約農家とも数量の確認をしながら、購入量を増やせるよう努力をお願いする。

**高齢者の農業支援は**

**問** 高齢化により農業経営が困難になる農家が増えているが、高齢者の農作業の委託についての考えは。

**農政課長** 農作業の一部委託という部分では、それを行うことで高齢農家が営農を継続することにつながり、短・中期的には地域農業の継続策のひとつである。しかし、作業を受託する人の確保が課題であり、シルバー人材センターやJ Aのヘルパー制度を活用していただきたい。



もっと多くの地元食材を  
(給食室に搬入されたキャベツ)